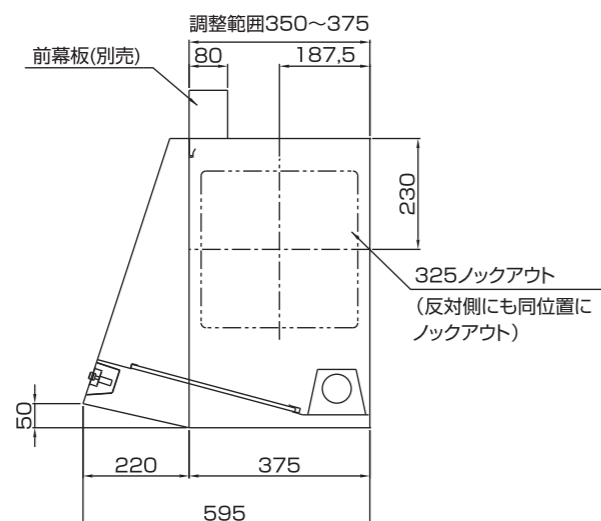
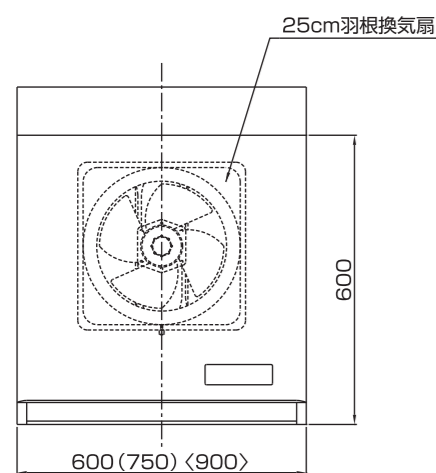
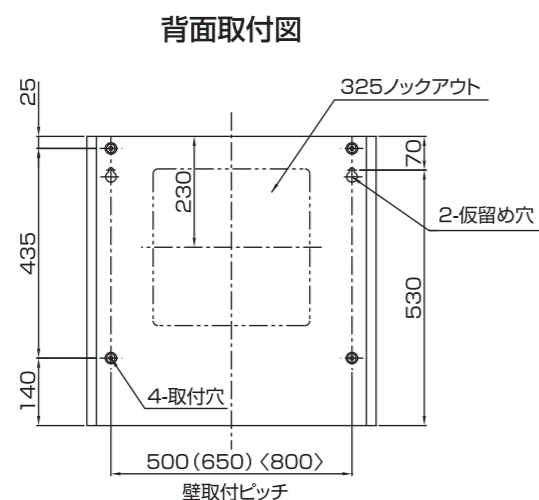
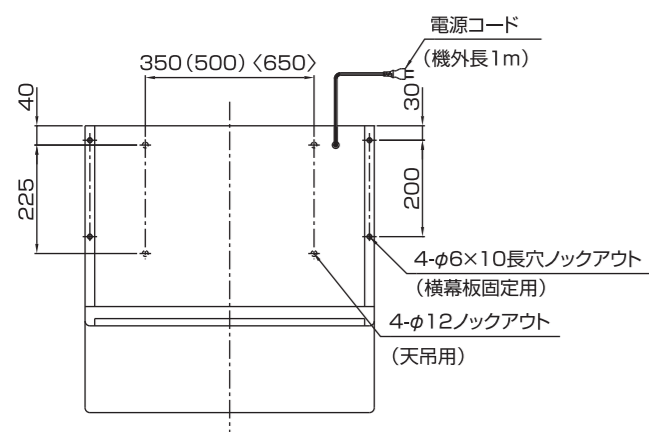
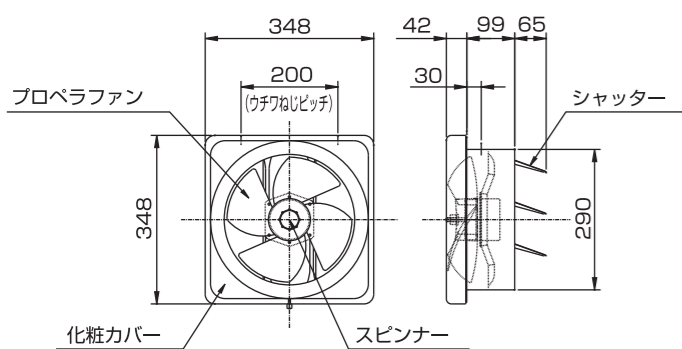


FG6B05P
(FG7B05P)
<FG9B05P>

(mm)



電動式シャッター換気扇



ブーツ型レンジフード

(プロペラファン)

FG6B05P
FG7B05P
FG9B05P

取付・設置説明書

安全のため必ずお守りください

製品を安全に正しく取付け、お客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。
- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項		分解・修理・改造禁止		水場での使用禁止
	指示に従う		接触禁止		
	電源プラグを抜く				

警告

修理分解はしない

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないで下さい。発火したり、異常作動してけがをするおそれがあります。

水をかけたりしない

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電や火災のおそれがあります。

電源プラグのお手入れを

●電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因になります。
※プラグの周りをシールドしてください。

壁貫通工事は注意

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造の建造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。漏電した場合、発火することがあります。

注意

羽根や部品の取り付けは確実に

●羽根や部品の取り付けは確実に行ってください。落下によりけがをするおそれがあります。

電源プラグを持って抜く

●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

強度のある所に取付ける

●本体の取り付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。落下によりけがをするおそれがあります。

交流100V以外禁止

●交流100V以外では使用しないでください。火災・漏電・機器が故障する原因となります。

お取付前の注意事項

- 部屋全体の換気には他の換気扇（ダクト用換気扇、または一般用換気扇）を併用してください。（レンジフードは局所換気専用です。）
- 取付工事の際は手袋、軍手などを使用してください。
- 取付高さはレンジ上面より標準80cm以上です。（但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください。）
製品はレンジの真上に取付け、取付高さは80cm以上の高さに取付けますが、あまり高すぎると排気効果が低下します。（図1）
- ガス開放式湯沸器の上部は高温になるので、開放式湯沸器の真上には取付けしないでください。
- ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。

- 空気の取入口を設けてください。密閉された部屋で使用の場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ（□156mm）以上にしてください。（図2）
- 下地の確認をしてください。
 - 木質壁の場合
 - 板厚が20mm以上の場合は直接壁に取付けてください。
 - 板厚が20mm未満の場合は壁に補強板を埋め込む等の補強を施し、レンジフードを取付けてください。
 - コンクリート、タイル壁の場合
 - あらかじめ補強板が壁に埋め込まれているか確認し、埋め込まれていない場合は、カールプラグ等を使用し固定してください。

（本体の取付用木ネジは50mmのものと同梱されており、レンジフードの取付面の木部まで取付用木ネジが確実に届いているかを確認してください。下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボードの厚さを確認し取付用木ネジが確実に木部に届くことを確認してください。）製品重量は15~18kgです。
- 交流100Vコンセントの設置がない場合は、100Vコンセントを設置してください。
- 電源コードは備付けがないよう配線してください。

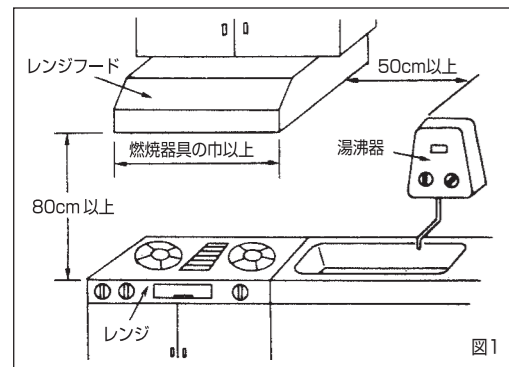


図1

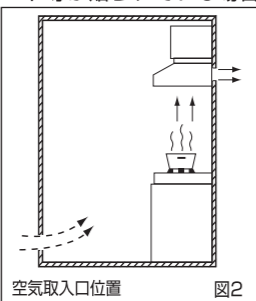
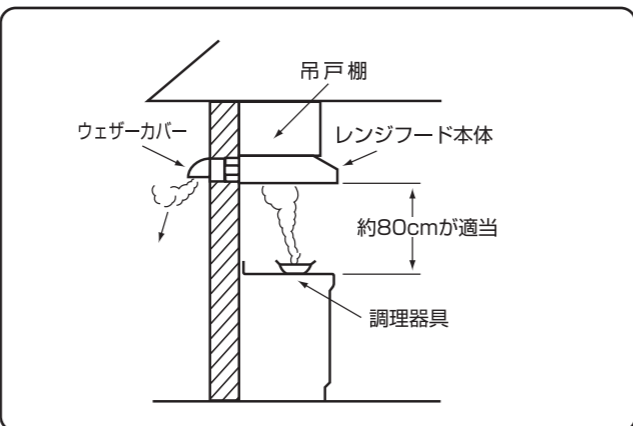


図2

取付け方法

1 取付位置を決めてください。

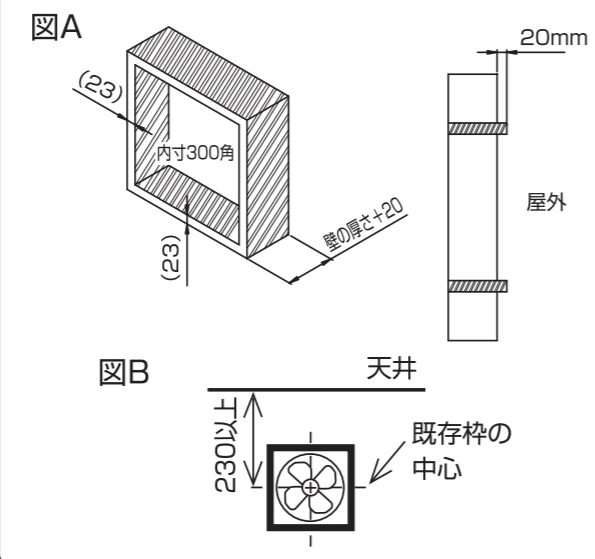
調理器具の真上80cm位の所に取付けてください。



2 壁に穴をあけ不燃仕様の枠を取付けてください。

- 製品取替えの際は、既存の枠を使用してください。ただし、既存の枠が図Aのとりの内寸であること。また、既存枠の中心から天井までの高さが230mm以上であること。（図B）
- 既存の枠を取り替える、もしくは新規に枠を取り付けされる場合は、図Aの不燃仕様の枠を取り付けてください。

※外形寸法図にもとづいて取り付け位置を決め、壁に排気口をあけ、枠をはめて固定してください。



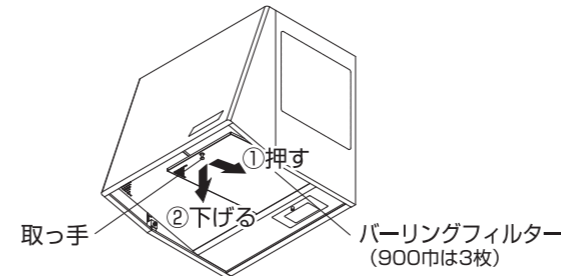
■ 付属品を確認してください。

ネジセット	
<ul style="list-style-type: none"> ● タッピングネジ 4×50 (6ヶ) ● プッシュ (6ヶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 座金付き丸木ネジ 4.1×22 (4ヶ) ● うちわネジ (2ヶ)

3 取付前の準備をする。

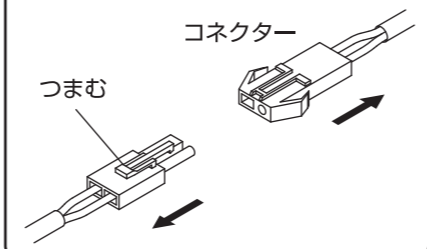
3-1 バーリングフィルターを外す

バーリングフィルターを外してください。取っ手をつかんで奥に押しながら下げると外れます。



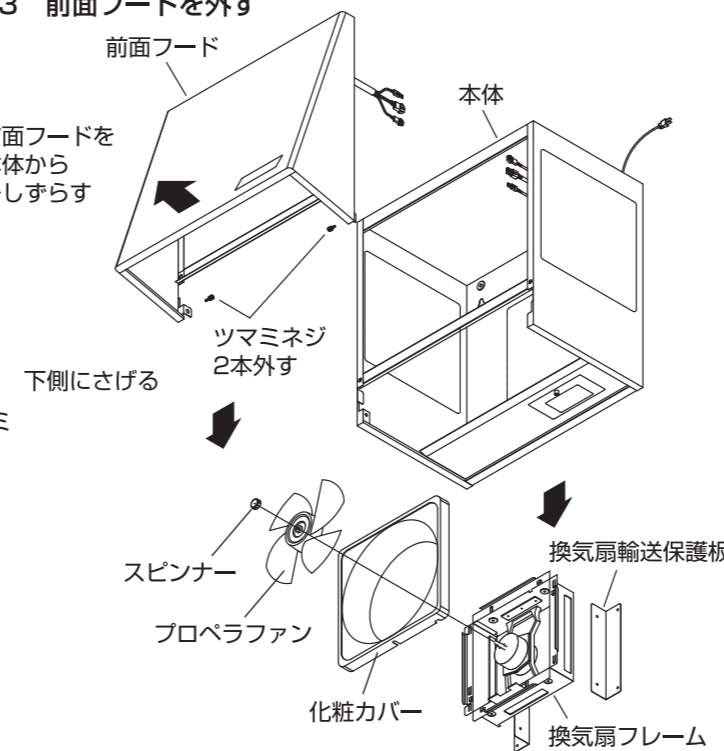
3-2 コネクターを抜く

コネクターを抜いてください。(3ヶ所) コネクターをつまんで抜いてください。



3-3 前面フードを外す

前面フードを本体から少しずらす

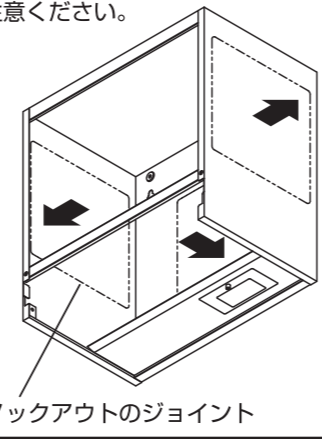


- 前面フードを取り付けている左右のツマミネジ (2本) を外してください。
- 前面フードを本体から少しずらして下側に下げると外れます。
- レンジフード本体から換気扇フレームを外してください。換気扇輸送保護板を換気扇フレームから取り外してください。
※換気扇輸送保護板は、取付・設置後は使用しません。

4 排気口具を取付ける。

- 排気方向を決めてください。
- ノックアウト部分のジョイントを切断してください。

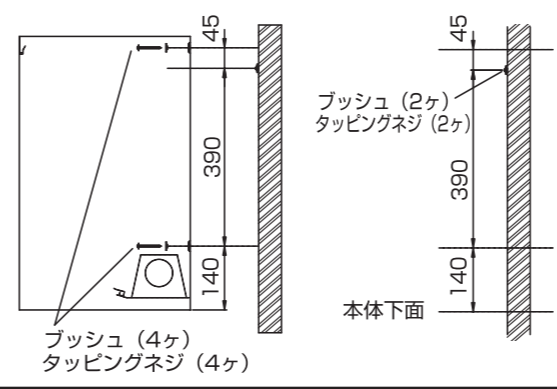
※無理に力を加えてノックアウトを抜こうとするとフードが変形するおそれがあるので、ご注意ください。



5 本体を取付ける。

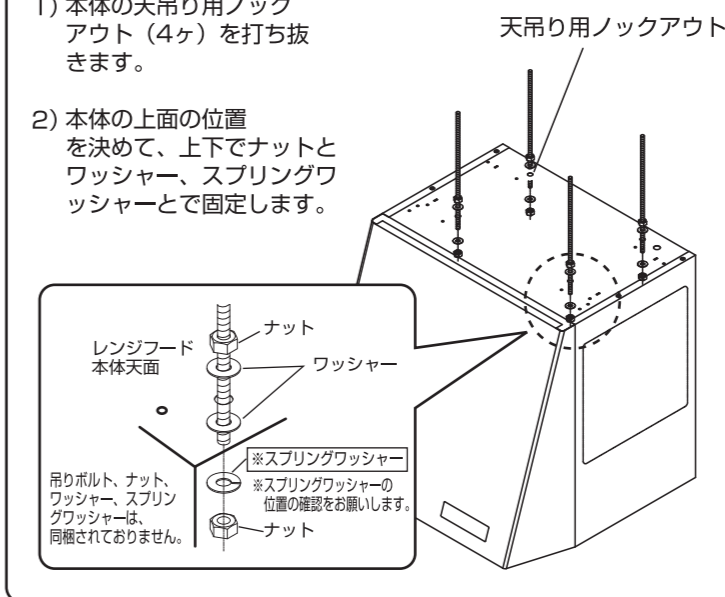
5-1 壁取付の場合

- 本体仮留め位置をケガいたところ (2ヶ所) にタッピングネジ (4×50) とプッシュを使い、壁に締めつけてください。
- このネジに本体を引っ掛けて、タッピングネジ (4×50) とプッシュで他4ヶ所を固定します。
※本体取付のネジ止めは合計6ヶ所です。必ず確認してください。



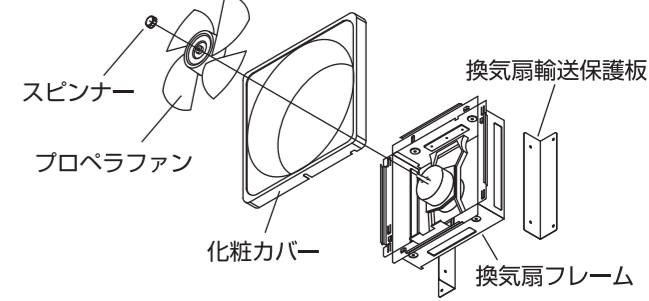
5-2 天井吊りの場合

- 本体の天井用ノックアウト (4ヶ) を打ち抜きます。
- 本体の上面の位置を決めて、上下でナットとワッシャー、スプリングワッシャーとで固定します。



6 換気扇を取付ける。

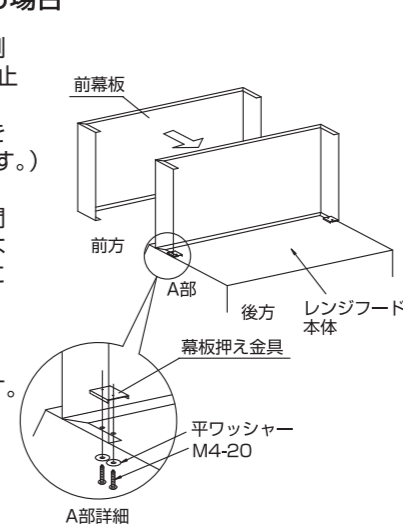
- 換気扇フレームを不燃仕様の枠にはめこみ、フレームの内側からうちわネジ2本をしっかりと締め付けてください。また、座金付きネジ (4.1×22) 4本で取り付けられるときも、しっかりと締め付けてください。
- 化粧カバーを取り付けてください。化粧カバーの上部フックと下部のつまみネジで固定します。
- ファンを取り付け、スピナーを十分に締め付けてください。



7 前幕板 (別売) ・横幕板 (別売) の取付け方法

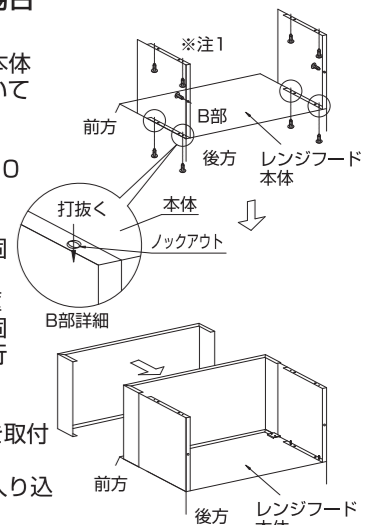
7-1 前幕板を使用する場合

- 幕板押え金具を本体内側からM4-20のネジで仮止めします。(本体と押え金具隙間を3~5mm程度にします。)
- 前方から押え金具の隙間に前幕板を差込み必要な奥行き寸法になるように調整します。
- 幕板押え金具のネジをしっかりと締めて完了です。



7-2 横幕板を使用する場合

- 本体天面のノックアウト (φ6×10長丸) 4ヶ所を本体外側から内側へ向けて打抜いてください。
- 横幕板を本体内側からM4-10のネジ2本で固定します。
- 横幕板を木ネジで後壁面に固定します。
※注1 (上面にも固定すると筐体強度が増しますが、上面固定は各市町村の条例に従ってください。)
- 7-1の手順に従い、前幕板を取付けてください。(横幕板が前幕板の内側へ入り込み、重なり合います。)



8 仕上げ

- 前面フード、コネクター、バーリングフィルターを「3 取付け前の準備をする」の取り外しの逆手順で取り付けてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

9 試運転

試運転を行い、下記についてご確認ください。

- 強、弱でそれぞれ排気が行われていること。
- 照明が点灯すること。
- 異常な振動、騒音がないこと。

試運転完了後、保証書に必要事項を記入のうえ、「取扱説明書」をお客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。